

グローバル COE 統合物質科学セミナー 開催報告書

(理学研究科) 林 民生

研究集会名：理学研究科化学専攻 有機化学セミナー

演者：Prof. Alexander Trifonov

G. A. Razuvaev Institute of Organometallic Chemistry of RAS, Russia

(ロシア科学アカデミーG. A. Razuvaev 有機金属化学研究所, ロシア)

演題：Rare-earth metal complexes supported by N,N-ligands in catalysis of transformations of olefins and synthesis of biodegradable polymers

(窒素配位子をもつ希土類金属錯体触媒によるオレフィンの変換反応)

場所：京都大学大学院理学研究科化学専攻 理学部 6 号館 302 号室

日程：2011 年 2 月 4 日 16:30-

総参加者概数：約 35 名

講演内容：

Alexander Trifonov 教授は、希土類金属錯体の合成およびそれらを用いた触媒反応の開発において業績を挙げている研究者であり、今回は、窒素キレート型配位子を有する様々な希土類金属のアルキルおよびヒドリド錯体の合成並びにその構造決定、さらにそれらを用いた錯体変換反応や触媒としての利用について幅広く講演を行った。まず、希土類金属元素の特徴に触れた後、guanidinato, amidopyridine, diamido 配位子を有する希土類金属錯体を順次紹介し、特にアルキル錯体やヒドリド錯体の構造およびその挙動について言及した。また、これらの錯体がオレフィンのヒドロシリル化反応や、エチレンの重合反応、さらにはオレフィンの分子内不斉ヒドロアミノ化反応の触媒として利用できることを実例とともに示した。最後には、希土類金属錯体触媒を用いた重合反応による生分解性高分子化合物の合成についても述べ、密度の高い有意義な講演会となった。

